

小丸川水系河川整備計画【原案】に関する住民意見への回答

No	意見者			分野	項目	主な意見	意見	回答案	【案】への反映方針					
	住民説明会	意見箱	葉書						【原案】本文に既に反映済み	新たに追記・修正				
1		○		全般	全般	りっぱな計画だと思うので、これからも災害の取り組みを、丁寧にしていただきたい。他説明に対する御礼等	小丸川は一級河川であり、災害に対しての国からの取り組みも、管理されている事を〔原案〕概要版で知りました。私達は、意見とかは、技術的な事もわかりませんし、わからないという事が、事実です。りっぱな計画だと思しますので、これからも災害の取り組みを、丁寧にしていきたいと思えます。	頂きました御意見を念頭に、小丸川の「安全で安心できる川づくり」を目指して、段階的に着実に河川整備を実施してまいります。	-					
2		○					河川整備の重要性をあらためて必要であると思えました。平成16年、17年の台風が戦後1、2ということは知らなかった。							
3		○					小丸川は、一級河川で、高鍋町には、なくてはならない川であります。高鍋町の鼻であります。末長く、大切にしてください、と思えます。							
4		○					大変参考になりました。							
5		○					ありがとうございます。							
6			○	治水（ハード対策）	河道掘削等により災害の少ない川づくりをしていただきたい	災害の少ない川づくりをしていただきたいと思えます。	当事務所としても皆様の生命・財産を守る治水安全度向上については、最優先で取り組むべき事項と考えています。本整備計画の目標としている流量を安全に流すことが出来るように、過去の水害の発生状況、流域の重要度やこれまでの整備状況などを総合的に考え、上下流の治水安全度バランスを考慮しつつ、段階的に着実に実施して参ります。	P52、P58、P61						
7		○				川床の掘削をお願いします。期待致します。								
8		○				河道掘削については早急をお願いします。								
9		○				下流が砂土をとられ幅広くなり水の流れも良くなりました。上流に行けば、まだ整備が……								
10		○				整備が遅れている箇所、一次整備は完了しているが、計画等の変更により基準をクリアしていない箇所の整備を早急をお願いしたい。災害に怯える事のない木城町にしてほしい。								
11		○				河川幅は広いですが、土砂の堆積、竹木等がおい茂り水量が多くなると水位が上がる。川床の掘削等全般の整備が必要と思う。								
12			○			河道掘削：水位を低下させるとありますが ・底部が上げ底状態は何かならないのか。 ・河川敷状態がある（泥の溜り過ぎ）（土砂）								
13		○				高城橋付近の流下能力を向上してほしい				大雨時に高城橋の附近の水位が高く不安なので整備をしていただきたい。	高城橋付近についても、掘削等を行う区間として明記しているところです。上下流の治水安全度バランスを考慮しつつ、段階的に着実に実施してまいります。	P52、P58、P61		
14		○								小丸川の川づくりにご尽力いただきありがとうございます。ハード対策で高城橋上流の河道掘削が計画されていますが、木城の水源が近くにあるので逆に水位が下がるなどの影響がないか心配になります。また、今後もよろしく願いいたします。今夜はありがとうございました。				⇒（高城橋上流の河道掘削にあたっては、周辺環境に配慮し、今後、詳細な調査等を行いながら施工方法を検討してまいりたいと考えております。）
15		○								高城橋付近は、川幅もせまく、人家も多い。河道掘削を行っても、土砂がたまれば、すぐに掘ることも出来ないと思うので、河幅を広げるか、堤防を高くして欲しい。				⇒（河川整備の方法については、御意見の方法の他、ダムや調節池、放水路等の様々な方法を、現地の状況や経済性等で比較して選定しています。部分的に堤防を高くしても効果がありませんし、川幅を広げた場合でも土砂が堆積する可能性はあります。河道掘削をした後も、河川巡視や定期的な測量等により状況を把握し、必要に応じて土砂の除去や樹木抜開を行うこととしています。）
16		○				青木地区（老瀬）の整備の計画を知りたい				青木地区（老瀬）に無堤防とあるが樋門等の設置はあるのか（計画）	ご指摘の青木地区は、整備計画に示す上江地区のことであり、堤防整備を行うこととしております。今後、樋門等の設置も含め、詳細な調査・検討を行いたいと考えております。	P52、P58、P61		
17	○			堤防上の対策安全性	堤防の安全性を点検・向上してほしい	堤防の構造が砂と聞いているが、大丈夫でしょうか？	全国の河川堤防は、古くから築造・改築を行ってきた経緯があり、築造の履歴や材料構成が明確でない箇所も存在します。そのため全国的な調査の中で、小丸川についても堤防の浸透に対する安全性を評価する詳細点検を実施しました。安全基準を満たしていない区間については、順次対策を行うこととしています。	P60						
18			○			築堤本体の安全性 土堤の使用材料土質実験（強度と浸透）								
19		○		地震・津波対策	地震・津波に対する安全性の照査・対策を実施してほしい	今後起こりうるであろう「南海トラフ大地震」対策として堤防の安全性の照査、必要な対策を早急を実施してほしい。	地震・津波対策につきましては、東日本大震災の発生を踏まえ、かつ今後発生が危惧される南海トラフの巨大地震である東南海・南海地震等の大規模地震による堤防等河川管理施設の安全性を照査したうえで、必要な対策を実施することとしています。検討結果についても、対策前に工法等の説明をさせて頂く等、必要な情報を提供していきます。	P60						
20			○			地震津波対策で安全性を照査した後、具体的な対策事例を紹介してほしい。又照査結果を公表してほしい。								
21		○				東北地方太平洋沖地震の津波クラスが発生した場合の小丸川流域における具体的な被害を知りたい。				⇒（津波浸水想定につきましては、宮崎県危機管理局にて、平成25年3月に公表されております。その内容につきましては、宮崎県庁のホームページをご参照頂ければと思えます。）				

小丸川水系河川整備計画【原案】に関する住民意見への回答

No	意見者			分野	項目	主な意見	意見	回答案	【案】への反映方針	
	住民説明会	意見箱	葉書						【原案】本文に既に反映済み	新たに追記・修正
22			○	治水（ハード対策）	内水対策	宮越地区の内水湛水被害を減少してほしい	内水湛水被害の減少 宮越地区・中洲樋管周辺の排水施設の充実と設置	宮越地区におきましては、以前は排水ポンプ車を配備する等の対応を講じていたところですが、更なる排水能力向上のため、排水ポンプ車に替えて固定式ポンプを設置するなど、一層の安全度向上に努めているところです。被害実績や浸水特性、土地利用状況等を十分勘案し、引き続き、被害の軽減に向けた対策を関係機関と連携・調整して進めていきたいと考えております。 なお、特に宮越地区に対する御意見が多かったことを踏まえ、「2.1.3 内水対策」に地区名を追記したいと思います。	P21、P60	P21
23			○				内水対策について 大池久保住民ですが、依然として浸水被害が生じていますが、宮越での排水ポンプ車では間に合わないと思われます。町営球場の下側に排水ポンプを設置して早めの排水をお願いします。			
24	○						宮越にポンプを据え置きされたが規模は大丈夫か？また排水車は間に合うか？			
25		○		治水（ソフト対策）	水防活動支援 水防情報提供等	ハード面だけでは、限界があると思われるので、ソフト面の充実を図っていただきたい。	洪水等による災害対策においてハード面では、限界があると思われるので、ソフト面の充実を図っていただきたい。（住民の危機管理の危機を高めるなど）	ご指摘のとおり、計画規模を上回る洪水等が発生した場合においても、被害を最小限に止めるためには、地域住民と関係機関とが相互に連携・協力し、危機管理体制を確立することが重要と考えております。地域住民の避難が適切かつ迅速にできるように災害情報の提供体制強化や、自助・共助・公助のバランスの取れた個人・地域の防災力向上を進めてまいります。 なお、皆様の意見とともに、水防活動等の充実や連携強化を図るための水防法等改正の閣議決定がなされたことを踏まえ、「4.3.1(4)2 水防活動への支援」に支援体制を確保・充実する旨を追記します。	P66～71	P67
26	○						積極的な取り組みで感謝している。ハード面は限界があると思うので、ソフト面を充実して欲しい。			
27		○					ハード対策には、予算等の限界があるだろうが、住民の気持ちとしては、非常に安心する。これからは、ソフト面の対策を重要視して、自からの身は自らで守るとの考えのもとに、情報の収集の方法に自分自身力を入れて考えて行きたい。			
28		○					破堤した際のシミュレーションは見ていてわかりやすい。			
29		○					河川情報システムについては知らない人も多いので周知を積極的にすべきでは？			
30	○						観測所のみでなく、橋桁に基準水位を付けた方が沿川の人はわかりやすいのでは？			
31	○						比木橋のカメラの目的は？			
32			○		防災意識向上のための情報伝達訓練、防災訓練の具体的な計画（時期、頻度、参加団体、内容）を示してほしい。	ご指摘の情報伝達訓練、防災訓練については、地域住民の安全を確保するため関係機関と連携し、平常時から行っていくことと記載しております。訓練の具体的な計画につきましては、実施する前に公表してまいります。				
33			○	維持管理	河道維持	川の中に堆積した土砂を除去してほしい。	堆積土砂のたまっている所から、木が育っていたりして川の流が以前とは変わってしまったている。環境にも継続して予算を入れて下さい。	堆積土砂や樹木については、河川巡視や定期的な測量等により、小丸川の状態変化を把握し、流下能力を維持する必要がある区間や河川管理上支障がある区間について計画的に土砂の除去や樹木の抜開を行うことを明記しています。今後も、皆様の意見を参考に適切な維持管理に努めてまいります。	P63	
34			○				河道堆積土砂の撤去 河積断面の確保。ただし環境面に配慮して。			
35	○						高鍋大橋付近の砂利採取は行わなくて大丈夫か？			
36		○					小丸川河口部の土砂			
37	○						船の航行に支障が出る場合もある。河口付近の砂利を取り除いて欲しい。			
38			○		川の中に木がたくさん生えていて、川が雑木林かわからなくなっている。川の中は砂利がたくさんたまっていて、水は少なく、さみしい。川口は、もうすぐつながって川から湖になりそうです。川の中の木を切り、砂利をのけると一級河川らしくなりますよ。					
39		○		ダムの土砂管理	ダムの土砂対策についても関連団体と検討をお願いしたい。	松尾ダムの土砂対策についても関連団体と検討をお願いしたい。国管轄区域ではないが、防災につながる重要な項目と考える。	ダムの土砂対策についても、上流から海までの総合的な土砂管理の観点から、ダム管理者のみでなく、関係機関と連携して取り組む問題と考えております。平成19年10月に設置された「宮崎県中部流砂系検討委員会」等により、連携して取り組みたいと思います。	P75		
40		○				ダム内土砂の管理は？				

小丸川水系河川整備計画【原案】に関する住民意見への回答

No	意見者			分野	項目	主な意見	意見	回答案	【案】への反映方針		
	住民説明会	意見箱	葉書						【原案】本文に既に反映済み	新たに追記・修正	
41		○		利水	水利用	田畑の用水に利用されている。	私は川南の住民ですが、川南の田畑も、小丸川の水を、利水して使用し、3月～11月まで、用水路として活用されている塩付地区もございます。	今後とも安定した利用がなされるよう、利水者、河川利用者および関係機関が一体となった取り組みを進めてまいります。	P54、P72～73		
42			○	水質	水質	濁水の長期化現象対策を早急にしてください。	濁水の長期化現象対策を早急にしてください。魚は全滅です。	当事務所としましても、上流から海までの総合的な土砂管理の観点から、関係機関と連携しつつ取り組まなければならない重要な課題の一つとして認識しております。このため、「水質保全」に関する項だけでなく、「総合的な土砂管理」の項に課題として織り込み、平成19年10月に設置した「宮崎県中部流砂系検討委員会」の中で対策等を検討することとしておりますが、「(2)河川の水質」の項で具体的な実施内容について追記することとします。	P72、P75		
43	○					河口左岸側の鳴野水門前の水域が土砂堆積のため隔離され水質が悪化している。	河口が閉塞傾向にある為、汚水が溜まっている場所は、悪臭がする。このパンフレットは、良いところばかりで作られていると思う。		小丸川全体では九州の中でも上位の水質となっていますが、御指摘のとおり、河口等の一部では改善が必要な水域が見られます。今後も、「小丸川水系水質汚濁防止連絡協議会」等により関係機関と連携し、河道内環境の維持に努めてまいります。	P54、P72～73	
44		○	河口等一部に水質の悪い区域がある。適切に管理してほしい。								
45		○	魚の住める水質にしてほしい。(データ上は水質は良ですが)魚の住める水質・環境ではないのではないのでしょうか？								
46		○				利活用・景観	河川敷広場を利用しやすくしてほしい		運動広場を整備してほしい。 小丸大橋のところに広場があるが、もっと広くしていろいろな競技ができるようになるとうい。	運動広場や河川敷広場などの、人と川がふれあうための空間等として多様な利用が期待される地区については、地域住民との調整を図り自治体と連携して河川空間の整備に取り組んでいくこととしております。	⇒ (小丸大橋の運動広場付近の持田地区につきましては、計画上、河道掘削を行う予定です。できる限り利用に配慮した掘削方法を検討したいと思います。なお、広場をもっと広げたいという意見につきましては、日常の河川敷利用を管理する町の方へ意見として伝えさせていただきます。)
47		○	小丸川河川敷広場を広くして欲しい。 いろいろな競技が出来るようにして欲しい。 河川敷のトイレの整備をして欲しい。								
48		○	河川全体の整備計画が入念にされていることを知り、将来が楽しみである。私は、地域の自治公民館の仲間と、年間を通して、河川敷を利用させてもらっていますが、一つ困ったことがあります。小丸大橋のすぐ上流ですがトイレの設備ないことです。仮設トイレ2基はあるけれど、とても足りません。土、日にかけては中、高校生が群内から来ていますがトイレがなく、近くのパチンコ店まで、集団で走って行く現状です。整備をすると共に、生きた人間の利用の場にもして欲しいものです。								
49		○	静かで、リラックスできる場所。								
50		○	堤防の補強対策として桜等の植樹に町民の親しみの場として整備される事を期待します。								
51		○	堤防を利活用したい。 高鍋まで堤防をつなげてほしい(右岸側) (サイクリングや、通学に使えるように)	⇒ (サイクリングや通学に使えるようにとの意見につきましては、日常の河川敷利用を管理する町の方へ意見として伝えさせていただきます。)							
52		○		環境	不法投棄の対策を行ってほしい	不法投棄の対策を行ってほしい。	不法投棄の対策を行ってほしい。	ゴミ等の不法投棄につきましては、環境面・景観面・治水面等、河川管理上の様々な点において望ましくないことから、重要な課題として認識し記載しています。今後も引き続き、関係機関や地域住民の方々と連携し、出来るだけ早い処理に努めると共に、市民団体を中心に行政・企業も一体となった河川の清掃・美化活動を通じて、ゴミの持ち帰りマナー向上等の啓発的な活動についても実施・支援を行ってまいります。	P75		
53		○	昔の様な、鮎とかたくさんいる川にしてほしい。			また昔の様な、鮎とかたくさんいる川にしてほしい。	魚等の動植物が生息できる小丸川らしい自然環境と豊かで清浄な水の保全・継承については、本河川整備の基本理念としているところです。引き続き、将来を担う子供たちへの環境学習を積極的に支援したり、環境調査を行うなど、環境の保全に努めてまいります。	P48、P74、P78			
54		○	ダムに魚道を取り付けられないか			小丸川の最下流ダム川原ダムに魚道を取り付けることを提言します。貴重な自然環境の保全の内に川原ダム上流域への川魚類が遡上する施設としての魚道造り構想を組み入れてほしいものです。魚類の身になってお考えください。ダムのあることは嘆きの壁です。ダム下流の河床岩盤は高く広いので、そこを粉碎したものを魚道のコンクリート構造の基盤敷に活用し、数百mの長さでダム水面まで辿りつけるのではなかろうか。河川の維持放流水による小規模発電は行なわれるようにはなったが、あといまひとつ魚道の付設があれば、小丸川は利活用・景観・観光面においても優れた配慮を感じさせてくれるのではなかろうか。	⇒ 頂きましたご意見につきましては、関係機関等にお伝えするとともに、国管理区間におきましても、多様な動植物が生息・生育・繁殖する豊かな自然環境を保全し、次世代に継承するよう努めたいと考えております。				
55		○	環境面においては、上流森林整備とも連携してほしい			環境整備は上流部の森林整備等にも積極的に取り組まなければ改善しない。	ご指摘の上流部の森林整備等のみならず、水質の観点や総合的な土砂管理の観点から、流域全体の関係する機関と連携・役割分担して、調整・研究、対策の検討を行っていきたく考えています。				
56	○			環境面においては、直轄だけでなく、上流との連携を図ることによって充実して欲しい							

小丸川水系河川整備計画【原案】に関する住民意見への回答

No	意見者			分野	項目	主な意見	意見	回答案	【案】への反映方針	
	住民説明会	意見箱	葉書						【原案】本文に既に反映済み	新たに追記・修正
57		○		川づくりの進め方	川とうまくつきあうための子供たちへの教育が必要	川の恵を受けながら私たちは生活していますが、同時に危なさも同居していることを改めて感じました。次世代へつなぐために、「近づくとおぶない」と言うことで川であそぶ子供たちは少ないと思います。「うまくつきあえばすばらしいもの」として学ばせていくといいのではないのでしょうか。	当事務所としましても御指摘のとおり、川の危なさ(防災意識)を含めて子供たちに教えることは重要事項と考えています。 加えて、近年の災害を受け「防災」が学校教育のプログラムにも組み込まれることとなっている状況を踏まえ、「5.3 地域の将来を担う人材の育成等」に防災教育を積極的に支援する旨追記します。	P78	P78	
58		○		その他	竹鳩橋、早めに作りかえは出来ないものかと思う。	竹鳩橋、早めに作りかえは出来ないものかと思います。	竹鳩橋の架け替えの要望については、当事務所のみならず、竹鳩橋を管理している高鍋町及び宮崎県ともに、以前より聞き及んでいるところです。今回、このような意見が出されたことを改めて町、県に伝えるなど、連携・協力していきたいと思います。			
59		○	竹鳩橋をかけかえた方が良い。							
60		○	竹鳩橋の新設が急務であります。							
61		○	竹鳩橋の早期架け替え							
62		○	鳴野川が昔は海にそのままつながっていたが、今後の予定はないか？			洪水や高潮が発生した際に、小丸川からの逆流水による家屋等の浸水被害を防ぐ目的で、堤防と水門を整備しています。治水上、今後も現状のままの予定です。				
63			○	(アンケートの×切が短いのではないか。)	今回の整備計画に関する意見募集につきましては、①住民説明会②アンケートはがき③インターネットメールの3つの方法により、3/26～4/22の約1ヶ月の期間で実施させて頂きました。他の事例等も踏まえて1ヶ月程度としていますが、今後も地域住民との合意形成に向けた情報の共有化、意見交換の場づくりを図るなど、引き続き、地域住民との双方向コミュニケーションを進めてまいりたいと考えております。いつでもご意見をお寄せ頂ければと思います。					
64		○								
65		○								
66		○								
67		○								
68		○								
69		○								